

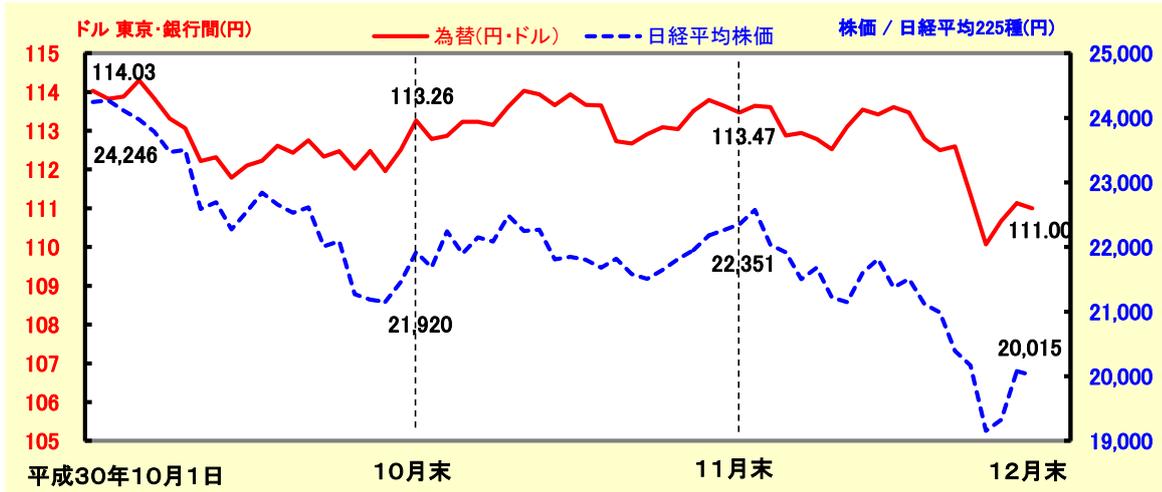
みらいしんきん Report

景気動向調査のまとめ

調査期間 平成30年10月～12月

大分みらい信用金庫では、3ヶ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

株価と為替の動き



調査内容

平成30年10～12月期の業況/平成31年1～3月期の業況予想

今回の調査実施時期

平成30年12月上旬

調査先数

大分市・別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・由布市・日出町・福岡県築上郡(事業所214先)

調査先業種内訳

製造業	31先	小売業	61先
卸売業	25先	サービス業	60先
建設業	21先	不動産業	16先

調査方法

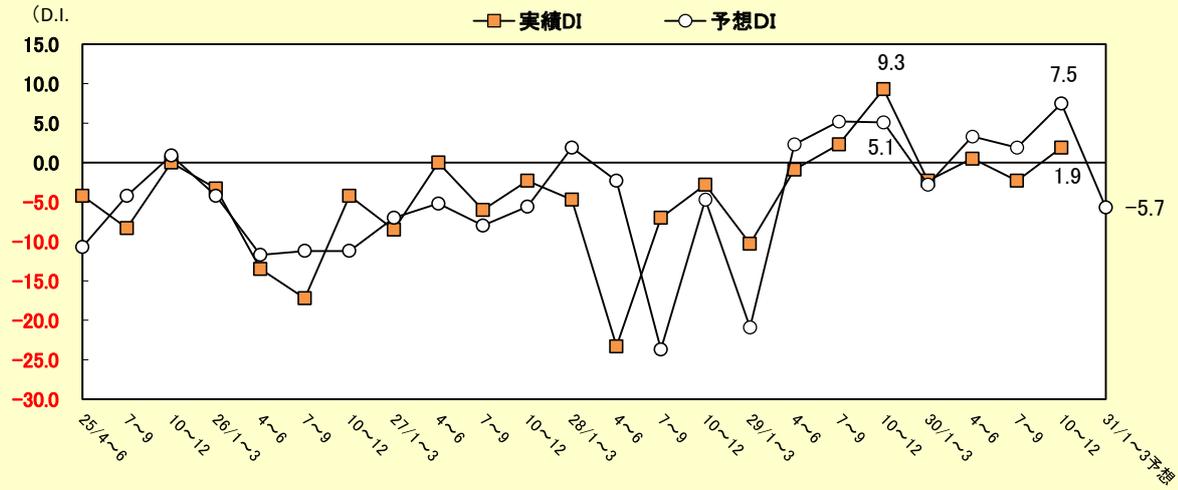
面接・聞き取りによる感触調査

分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)で分析しています。

県内経済概況

業況判断・実績DI/予想DI値推移



業種別天気図

表の見方



	10~12月期実績				1~3月期予想			
	総合	別府	大分	県北	総合	別府	大分	県北
総合	1.9	▲1.1	3.6	5.1	▲5.7	▲8.9	▲6.0	2.6
製造業	▲10.0	▲26.6	0.0	10.0	▲3.4	▲20.0	0.0	22.2
小売業	▲1.6	3.8	▲7.6	0.0	▲13.3	▲19.2	▲3.8	▲25.0
卸売業	▲16.0	▲11.1	▲30.0	0.0	▲24.0	▲33.3	▲30.0	0.0
サービス業	5.0	0.0	14.2	▲25.0	▲1.6	3.5	▲3.5	▲25.0
建設業	28.5	40.0	22.2	28.5	14.2	20.0	0.0	28.5
不動産業	17.6	14.2	33.3	0.0	5.8	14.2	0.0	0.0

10月~12月の県内経済概況

10月~12月の調査地域全域における企業の景況感を示す総合業況DIは1.9となり、前期比1.4ポイント上昇となっています。

業種別の状況を見ると、製造業は▲10.0となり、前期比3.6ポイント下降、小売業は▲1.6となり、前期比5.0ポイント上昇、卸売業は▲16.0となり、前期比16.0ポイント下降、サービス業は5.0となり、前期と同水準、建設業は28.5となり、前期比24.0ポイント上昇、不動産業は17.6となり、前期と同水準となっています。

地域別では、別府地区が▲1.1となり、前期比5.6ポイント下降、大分地区が3.6となり、前期比7.1ポイント上昇、県北地区が5.1となり、前期比5.1ポイント上昇となっています。

業種別景況

製造業

● 当期(10月～12月)の景況

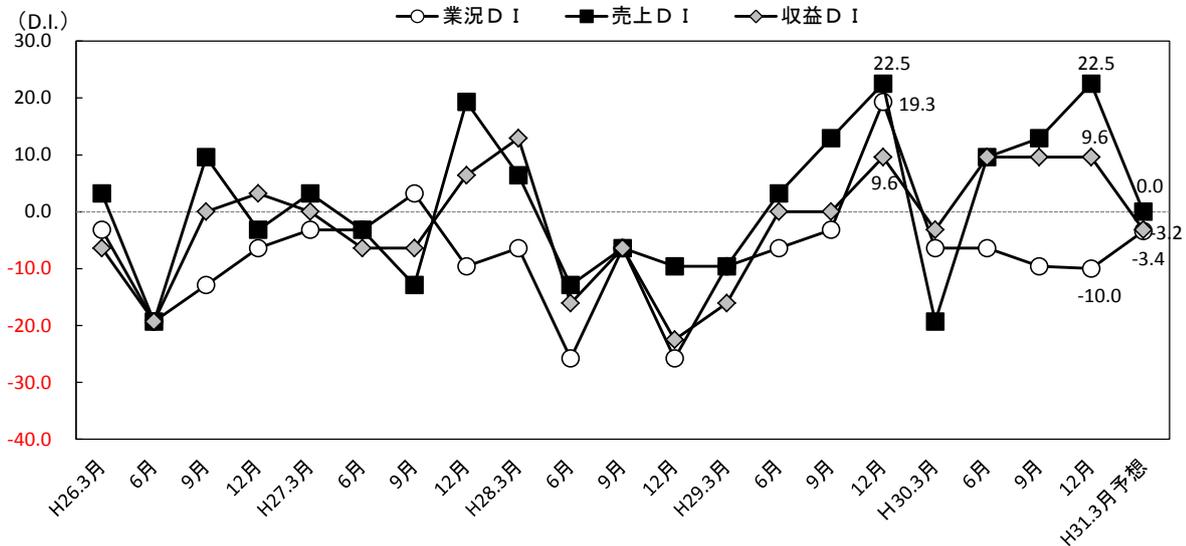
全域における業況DIは▲10.0となり、前期比3.6ポイント下降、前年同期比6.8ポイント下降となっています。売上DIは22.5となり、前期比12.9ポイント上昇、前年同期比9.6ポイント上昇となっています。収益DIは9.6となり、前期と同水準、前年同期比9.6ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲26.6となり、前期比26.6ポイント下降、前年同期比4.6ポイント上昇、大分地区が0.0となり、前期比40.0ポイント上昇、前年同期と同水準、県北地区が10.0となり、前期比10.0ポイント上昇、前年同期比30.0ポイント下降となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは▲3.4となり、今期比6.6ポイント上昇となっています。売上予想DIは0.0となり、今期比22.5ポイント下降となっています。収益予想DIは▲3.2となり、今期比12.8ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲20.0、大分地区が0.0、県北地区が22.2となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

人手不足	16.2%
売上停滞・減少	13.5%
同業者間の競争激化	10.8%
原材料高	9.4%
工場・機械の狭小・老朽化	6.7%

最重要経営施策

経費節減	25.3%
販路拡大	19.7%
人材確保	12.6%
情報力強化	8.4%
特になし	5.6%

経営者のみなさまの主なコメント

- 業況は横ばいである。(印刷)
- 年々、年賀状の印刷依頼が減少傾向である。安価な大手業者を利用する顧客の増加も要因の一つだが、年賀状自体を出さない人が増えている印象。(印刷)
- 原材料価格が上昇し、資金繰りがやや苦しくなっている。(仕出し・弁当)
- 業況は変わらず推移している。人手不足であるが、人を雇うことができない状況。今後は経費削減を目指す。(豆腐)
- 家族経営であり、売上は停滞している。(竹製品)
- 今期も材料価格が上がっており、それに伴い接着剤などの付随品の価格も上がっている。2019年の消費税増税による買いしづりも不安である。(家具)
- 年末は、特需により仕入・売上とも増加するが、経営状況はよくない。(和菓子・パン)

小 売 業

● 当期(10月～12月)の景況

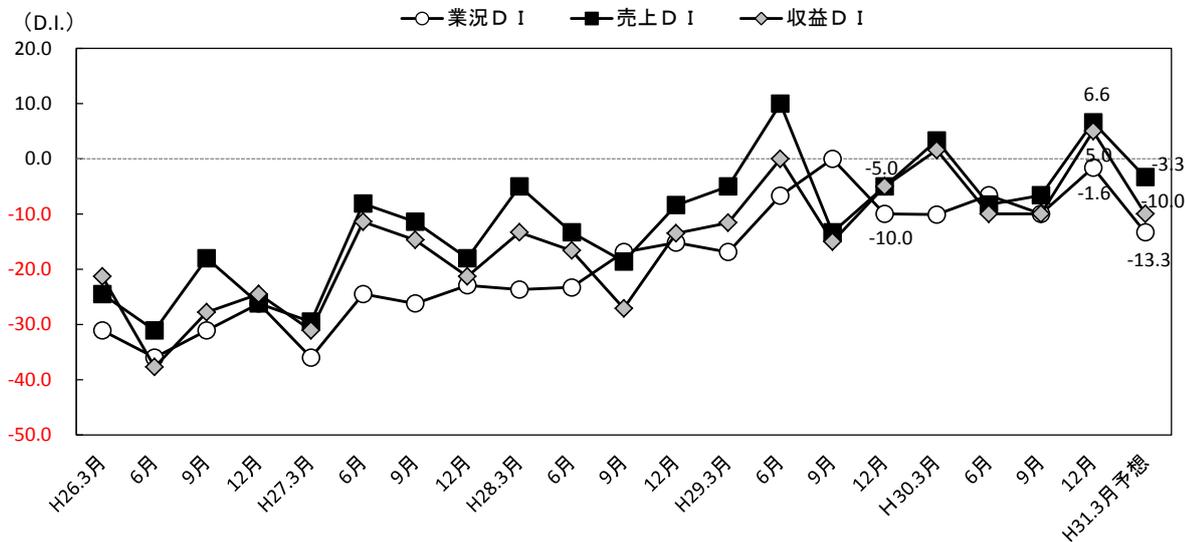
全域における業況DIは▲1.6となり、前期比5.0ポイント上昇、前年同期比1.6ポイント下降となっています。売上DIは6.6となり、前期比14.9ポイント上昇、前年同期比19.9ポイント上昇となっています。収益DIは5.0となり、前期比15.0ポイント上昇、前年同期比20.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が3.8となり、前期比3.8ポイント上昇、前年同期比3.8ポイント上昇、大分地区が▲7.6となり、前期比3.9ポイント上昇、前年同期と同水準、県北地区が0.0となり、前期比12.5ポイント上昇、前年同期比25.0ポイント下降となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは▲13.3となり、今期比11.7ポイント下降となっています。売上予想DIは▲3.3となり、今期比9.9ポイント下降となっています。収益予想DIは▲10.0となり、今期比15.0ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲19.2、大分地区が▲3.8、県北地区が▲25.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	23.3%
同業者間の競争激化	11.2%
大型店競争激化	11.2%
取引先減少	8.0%
人手不足	7.2%

最重要経営施策

経費節減	66.6%
売筋商品取扱	31.2%
宣伝・広告強化	29.1%
品揃え改善	27.0%
人材確保	16.6%

経営者のみなさまの主なコメント

- 原油価格の高騰により、灯油の仕入価格が高騰しているが、売価に直接上乗せしている。キャッシュレス決算の導入を検討中(燃料)
- 販売は夏場に集中するが、今年は暑すぎで売上がよくなかった。(氷)
- 観光客のホテル・旅館等への入りが納品量を大きく左右しているが、天候不順や自然災害の影響により、ここ数年不安定な状態。(精肉)
- 地域住民の高齢化、地区の衰退の進行、大手スーパーへ客が流れていることが影響し、売上が減少している。また、長年取引していた仕入先が閉店したため、お中元とお歳暮の取り扱いを中止した。(衣料品)
- 現状、仕入値の高騰により、販売金額を上げることが検討中。(雑貨・カフェ)
- 駅前通りに店舗があるが、お客様の多くは海外の観光客である。最近は書籍の電子化に悩まされている。(雑誌・書籍)
- 売上はやや減少。セール等により集客営業をしている。経費を節減し、収益性の向上も図っている。(食料品)
- パン人気もあり競合店が増えてきているが、売上はキープできている。(パン)
- バイク人口の減少により売上は減少傾向。自社イベント等により集客を図っている。(オートバイ)
- 学生用品販売は、少子化の影響を大きく受けるため苦労している。石油価格の上昇による原価上昇もネック。(学生服)

卸 売 業

● 当期(10月～12月)の景況

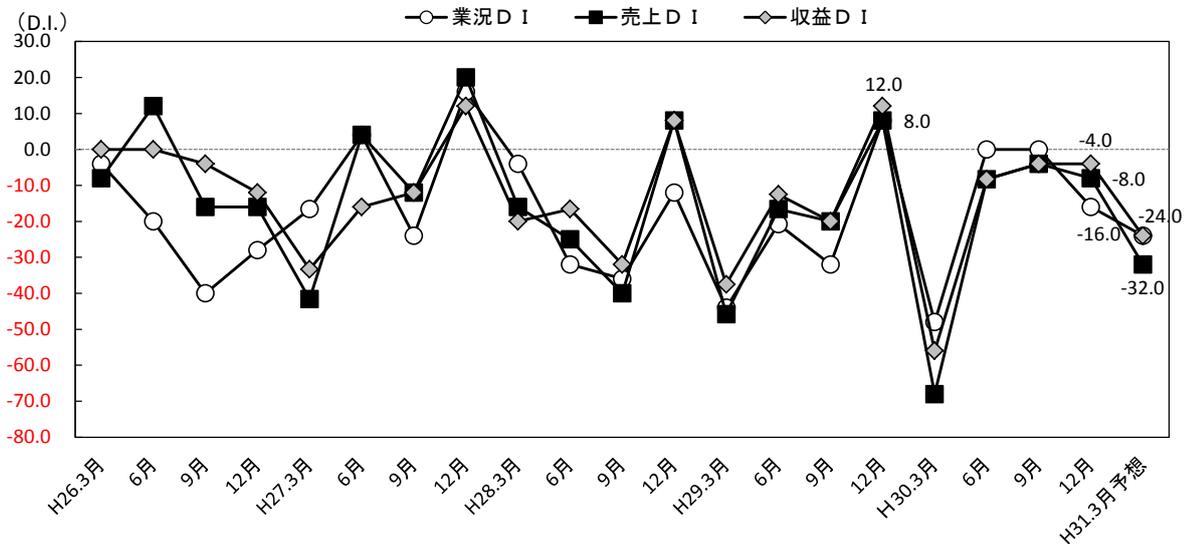
全域における業況DIは▲16.0となり、前期比16.0ポイント下降、前年同期比16.0ポイント上昇となっています。売上DIは▲8.0となり、前期比0.3ポイント上昇、前年同期比12.0ポイント上昇となっています。収益DIは▲4.0となり、前期比4.3ポイント上昇、前年同期比16.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲11.1となり、前期比11.1ポイント下降、前年同期比33.3ポイント上昇、大分地区が▲30.0となり、前期比20.0ポイント下降、前年同期比10.0ポイント上昇、県北地区が0.0となり、前期比16.6ポイント下降、前年同期と同水準となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは▲24.0となり、今期比8.0ポイント下降となっています。売上予想DIは▲32.0となり、今期比24.0ポイント下降となっています。収益予想DIは▲24.0となり、今期比20.0ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲33.3、大分地区が▲30.0、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	19.6%
同業者間の競争激化	14.2%
利幅縮小	12.5%
人手不足	10.7%
取引先減少	7.1%

最重要経営施策

経費節減	25.0%
販路拡大	22.9%
情報力強化	14.5%
品揃えの充実化	10.4%
人材確保	8.3%

経営者のみなさまの主なコメント

- 商品の仕入価格については、現在、大きな値上げの動きはない。竹製品全体が、来年の1月より値上げとなる可能性が高いことが心配である。(竹製品)
- 10月から12月が繁忙期であり、今年も売上は例年並みで推移する見込み。今後、自動めくり機の導入により、人手不足の解消を図る予定(カレンダータオル化粧品)
- 取引先には営業年数の長い業者があり、固定客も多い。県外同業者の参入等により減収傾向(木材)

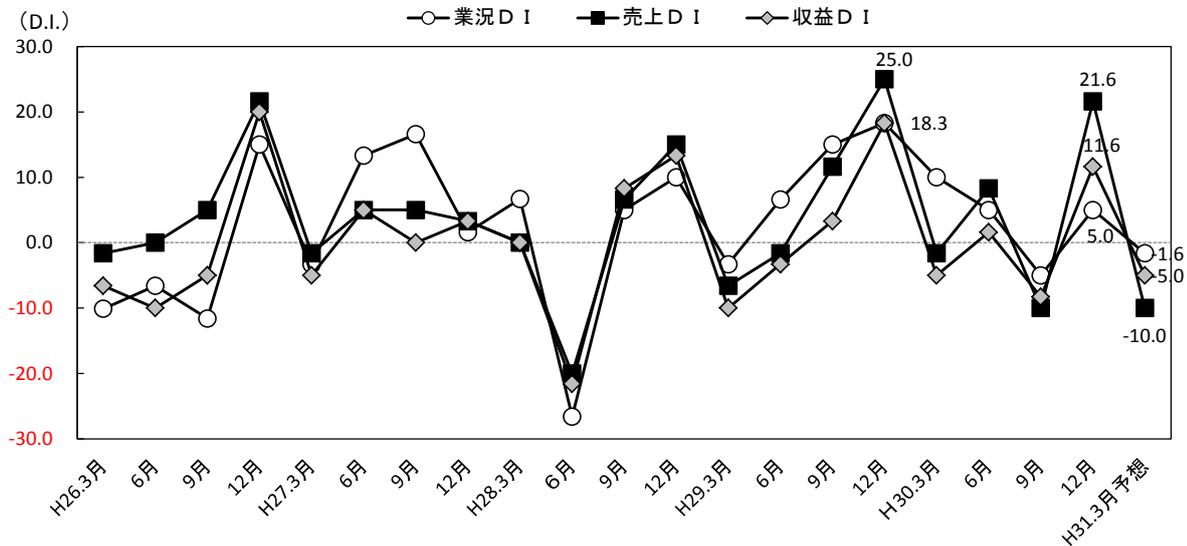
サービス業

● 当期(10月～12月)の景況

全域における業況DIは5.0となり、前期と同水準、前年同期比10.0ポイント下降となっています。売上DIは21.6となり、前期比13.3ポイント上昇、前年同期比10.0ポイント上昇となっています。収益DIは11.6となり、前期比10.0ポイント上昇、前年同期比8.3ポイント上昇となっています。
 地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期比3.5ポイント下降、前年同期比25.0ポイント下降、大分地区が14.2となり、前期比3.5ポイント上昇、前年同期比7.1ポイント上昇、県北地区が▲25.0となり、前期と同水準、前年同期比25.0ポイント下降となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは▲1.6となり、今期比6.6ポイント下降となっています。売上予想DIは▲10.0となり、今期比31.6ポイント下降となっています。収益予想DIは▲5.0となり、今期比16.6ポイント下降となっています。
 地域別の業況予想DIでは、別府地区が3.5、大分地区が▲3.5、県北地区が▲25.0となっています。



経営上の問題点

同業者間の競争激化	17.3%
人手不足	14.9%
売上停滞・減少	14.9%
利幅縮小	7.8%
材料価格の上昇	7.8%

最重要経営施策

販路拡大	21.4%
経費節減	19.8%
人材確保	15.0%
店舗・設備改装	7.9%
宣伝・広告強化	7.1%

経営者のみなさまの主なコメント

- 別府への観光客の減少や、宿泊客のキャンセル等、自然災害による影響は大きい。(宿泊業)
- 例年と比較して気温が下がる時期が遅くなったため、衣替えの客の出足が遅くなった。近年、安価な服が増加したためか夏服の受注が減少した。(クリーニング)
- 男性の固定客が多い。お客様の高齢化に伴い来店されるお客様は減少傾向。(理容業)
- 自然災害は、売上減少の最大の要因であるが、かといって対策はなく悩ましいところ。(観光施設の運営)
- 業況は横ばいで推移している。(旅館業)
- 売上は減少傾向であり、人件費の削減に注力している。(旅館業)
- 台風災害があったが、特段業務に支障はなかった。運輸経路についても問題なかった。(運輸業)
- 業況は良好であり、売上も安定推移している。特に災害等の影響はなかった。(重量物運搬)
- 自然災害の影響で仕入値が上がった。(飲食店)
- 災害等による影響は、特になかった。(介護)
- 地域の方から認められている練習場であり、売上は安定している。(ゴルフ練習場)
- リピーターが多く、売上は安定しているが、リピーター客の高齢化が悩みである(美容業)

建設業

● 当期(10月～12月)の景況

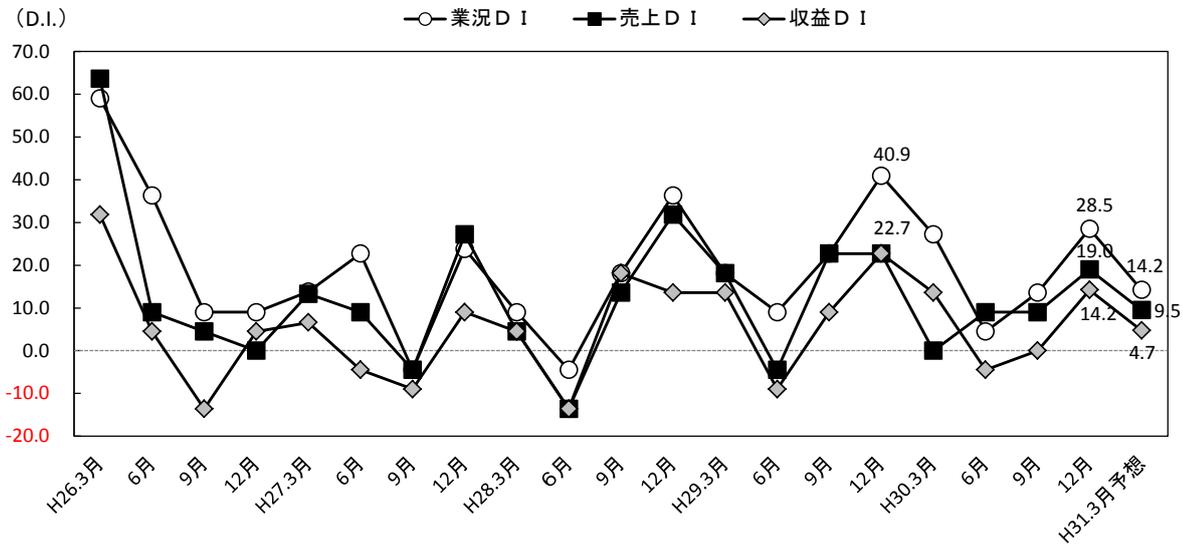
全域における業況DIは28.5となり、前期比24.0ポイント上昇、前年同期比5.8ポイント上昇となっています。売上DIは19.0となり、前期比10.0ポイント上昇、前年同期比3.7ポイント下降となっています。収益DIは14.2となり、前期比18.7ポイント上昇、前年同期比5.2ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が40.0となり、前期比20.0ポイント上昇、前年同期と同水準、大分地区が22.2となり、前期比22.2ポイント上昇、前年同期と同水準、県北地区が28.5となり、前期比28.5ポイント上昇、前年同期比16.0ポイント上昇となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは14.2となり、今期比14.3ポイント下降となっています。売上予想DIは9.5となり、今期比9.5ポイント下降となっています。収益予想DIは4.7ポイントとなり、今期比9.5ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が20.0、大分地区が0.0、県北地区が28.5となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

人手不足	33.3%
同業者間の競争激化	13.3%
下請の確保難	11.1%
売上停滞・減少	8.8%
材料価格の上昇	6.6%

最重要経営施策

人材確保	27.9%
経費節減	18.6%
技術力向上	16.2%
情報力強化	16.2%
販路拡大	11.6%

経営者のみなさまの主なコメント

- 2019年から消費税が10%になるため、今後の景気や業況がはっきりとわからない。税金等が多くなることの不安もある。(屋根工事業)
- 天候不順で工期が遅れることが多くあった。厳しいながらも安定的に受注は見込めている。(増改築工事)
- 今季、受注は少なかったが、年末年始にかけ大型工事を受注している。来年は売上の増加が見込める。(総合建築業)
- 地場の企業であり、業況は安定している。業界全体で人手不足となっている。(総合建設業)

不動産業

● 当期(10月～12月)の景況

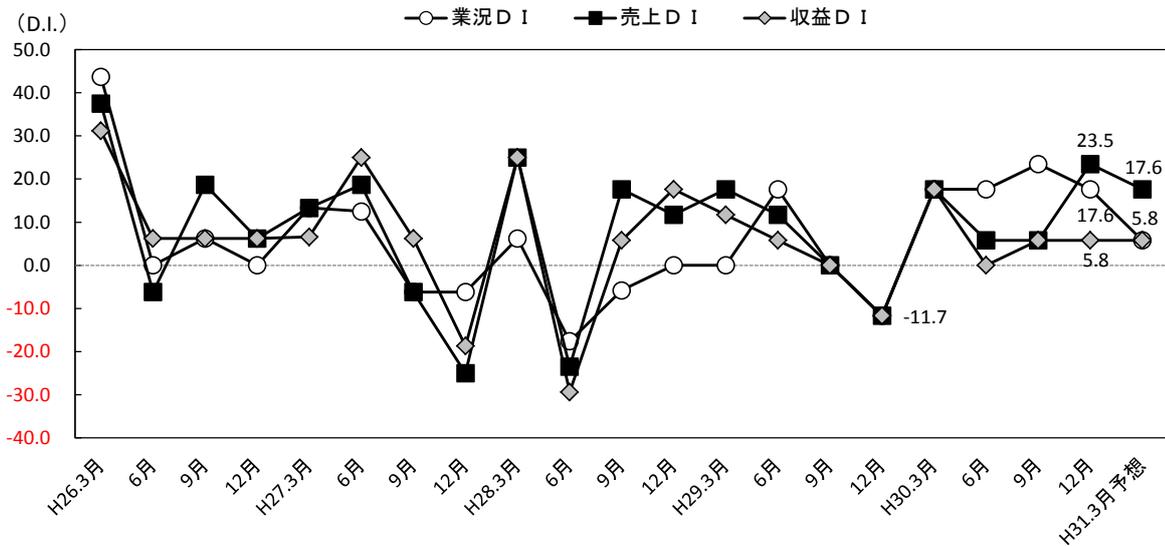
全域における業況DIは17.6となり、前期と同水準、前年同期比17.6ポイント上昇となっています。売上DIは23.5となり、前期比17.7ポイント上昇、前年同期比23.5ポイント上昇となっています。収益DIは5.8となり、前期比5.8ポイント上昇、前年同期比5.8ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が14.2となり、前期比14.3ポイント下降、前年同期と同水準、大分地区が33.3となり、前期比33.3ポイント上昇、前年同期比49.9ポイント上昇、県北地区が0.0となり、前期比25.0ポイント下降、前年同期と同水準となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは5.8となり、今期比11.8ポイント下降となっています。売上予想DIは17.6となり、今期比5.9ポイント下降となっています。収益予想DIは5.8となり、今期と同水準となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が14.2、大分地区が0.0、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	32.1%
商品物件不足	17.8%
大手企業との競争激化	10.7%
問題なし	10.7%
売上停滞・減少	10.7%

最重要経営施策

情報力強化	29.7%
宣伝・広告強化	21.6%
経費節減	16.2%
販路拡大	8.1%
特になし	8.1%

経営者のみなさまの主なコメント

- 2019年は消費税増税の影響を気にしている。(不動産仲介業)
- 中古物件を購入、改装して賃貸している。(貸間貸し家仲介業)
- 自然災害の影響なかった。(不動産代理仲介業)
- 不動産業は活発だが、2020年以降を不安視している。人手が不足しており、大変忙しい。(不動産仲介業)

D I 数 値

全域合計

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	10月～12月実績	1.9	△ 10.0	△ 1.6	△ 16.0	5.0	28.5	17.6
	1月～3月予想	△ 5.7	△ 3.4	△ 13.3	△ 24.0	△ 1.6	14.2	5.8
売 上	10月～12月実績	14.0	22.5	6.6	△ 8.0	21.6	19.0	23.5
	1月～3月予想	△ 5.1	0.0	△ 3.3	△ 32.0	△ 10.0	9.5	17.6
受注残	10月～12月実績	17.3	16.1	***	***	***	19.0	***
	1月～3月予想	△ 1.9	△ 3.2	***	***	***	0.0	***
施工高	10月～12月実績	14.3	***	***	***	***	14.2	***
	1月～3月予想	0.0	***	***	***	***	0.0	***
収 益	10月～12月実績	7.5	9.6	5.0	△ 4.0	11.6	14.2	5.8
	1月～3月予想	△ 6.5	△ 3.2	△ 10.0	△ 24.0	△ 5.0	4.7	5.8
販売価格	10月～12月実績	9.6	6.4	11.6	6.8	8.3	4.7	23.5
	1月～3月予想	7.6	0.0	10.0	8.0	4.5	4.7	23.5
仕入価格	10月～12月実績	22.5	22.5	23.3	25.0	18.3	28.5	23.5
	1月～3月予想	16.0	9.6	15.0	29.1	15.0	9.5	23.5
在庫	10月～12月実績	1.3	6.4	6.6	△ 4.0	***	0.0	△ 17.6
	1月～3月予想	△ 2.0	3.3	3.3	0.0	***	△ 4.7	△ 29.4
資金繰り	10月～12月実績	△ 2.8	△ 3.2	△ 13.3	0.0	1.6	4.7	5.8
	1月～3月予想	△ 2.8	△ 12.9	△ 15.0	0.0	6.6	14.2	0.0
残業時間	10月～12月実績	△ 1.9	△ 3.2	1.6	△ 8.0	△ 3.3	0.0	0.0
	1月～3月予想	△ 2.8	△ 3.2	0.0	△ 8.0	△ 5.0	△ 4.7	5.8
人手状況	10月～12月実績	△ 26.2	△ 35.4	△ 11.6	△ 20.0	△ 28.3	△ 47.6	△ 35.2
	1月～3月予想	△ 22.9	△ 35.4	△ 11.6	△ 16.0	△ 21.6	△ 38.0	△ 35.2

別府地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	10月～12月実績	△ 1.1	△ 26.6	3.8	△ 11.1	0.0	40.0	14.2
	1月～3月予想	△ 8.9	△ 20.0	△ 19.2	△ 33.3	3.5	20.0	14.2
売 上	10月～12月実績	18.7	25.0	23.0	11.1	17.8	20.0	0.0
	1月～3月予想	△ 12.1	△ 6.2	△ 19.2	△ 33.3	△ 3.5	△ 20.0	0.0
受注残	10月～12月実績	14.3	12.5	***	***	***	20.0	***
	1月～3月予想	△ 14.3	△ 12.5	***	***	***	△ 20.0	***
施工高	10月～12月実績	0.0	***	***	***	***	0.0	***
	1月～3月予想	0.0	***	***	***	***	0.0	***
収 益	10月～12月実績	7.7	18.7	15.3	0.0	3.5	0.0	△ 14.2
	1月～3月予想	△ 11.0	0.0	△ 23.0	△ 33.3	0.0	0.0	△ 14.2
販売価格	10月～12月実績	12.1	6.2	15.3	22.2	7.1	0.0	28.5
	1月～3月予想	11.0	6.2	11.5	33.3	3.5	0.0	28.5
仕入価格	10月～12月実績	22.2	25.0	23.0	25.0	17.8	20.0	28.5
	1月～3月予想	21.1	25.0	15.3	50.0	17.8	0.0	28.5
在庫	10月～12月実績	0.0	6.2	0.0	11.1	***	0.0	△ 28.5
	1月～3月予想	△ 1.6	13.3	△ 3.8	11.1	***	0.0	△ 42.8
資金繰り	10月～12月実績	△ 5.6	△ 6.2	△ 11.5	12.5	△ 3.5	△ 20.0	0.0
	1月～3月予想	△ 3.3	△ 25.0	△ 11.5	12.5	3.5	40.0	0.0
残業時間	10月～12月実績	△ 2.2	△ 6.2	3.8	△ 11.1	△ 7.1	20.0	0.0
	1月～3月予想	△ 3.3	△ 6.2	0.0	△ 22.2	△ 3.5	20.0	0.0
人手状況	10月～12月実績	△ 22.0	△ 18.7	△ 7.6	△ 11.1	△ 35.7	△ 40.0	△ 28.5
	1月～3月予想	△ 18.7	△ 12.5	△ 7.6	△ 11.1	△ 28.5	△ 40.0	△ 28.5

大分地区

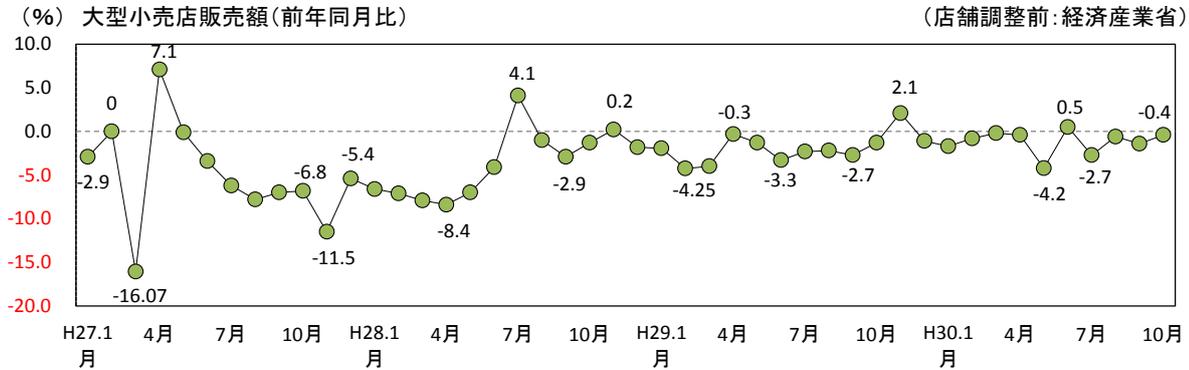
		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	10月～12月実績	3.6	0.0	△ 7.6	△ 30.0	14.2	22.2	33.3
	1月～3月予想	△ 6.0	0.0	△ 3.8	△ 30.0	△ 3.5	0.0	0.0
売上	10月～12月実績	17.9	0.0	3.8	△ 20.0	35.7	33.3	50.0
	1月～3月予想	0.0	20.0	11.5	△ 30.0	△ 14.2	11.1	33.3
受注残	10月～12月実績	21.4	0.0	***	***	***	33.3	***
	1月～3月予想	7.1	20.0	***	***	***	0.0	***
施工高	10月～12月実績	33.3	***	***	***	***	33.3	***
	1月～3月予想	△ 11.1	***	***	***	***	△ 11.1	***
収益	10月～12月実績	15.5	△ 20.0	7.6	0.0	28.5	22.2	33.3
	1月～3月予想	△ 2.4	0.0	7.6	△ 20.0	△ 10.7	0.0	16.6
販売価格	10月～12月実績	7.1	0.0	7.6	△ 10.0	10.7	0.0	33.3
	1月～3月予想	5.9	0.0	7.6	△ 10.0	10.7	0.0	16.6
仕入価格	10月～12月実績	20.2	20.0	19.2	30.0	14.2	22.2	33.3
	1月～3月予想	15.5	20.0	15.3	20.0	10.7	11.1	33.3
在庫	10月～12月実績	3.5	0.0	11.5	△ 10.0	***	0.0	0.0
	1月～3月予想	0.0	0.0	11.5	△ 10.0	***	△ 11.1	△ 16.6
資金繰り	10月～12月実績	△ 2.4	△ 20.0	△ 19.2	0.0	3.5	22.2	16.6
	1月～3月予想	△ 3.6	△ 20.0	△ 19.2	0.0	7.1	11.1	0.0
残業時間	10月～12月実績	2.4	0.0	△ 3.8	0.0	0.0	22.2	16.6
	1月～3月予想	△ 3.8	0.0	△ 3.8	10.0	△ 7.1	△ 11.1	0.0
人手状況	10月～12月実績	△ 29.8	△ 60.0	△ 11.5	△ 40.0	△ 25.0	△ 44.4	△ 66.6
	1月～3月予想	△ 27.4	△ 60.0	△ 11.5	△ 40.0	△ 21.4	△ 33.3	△ 66.6

県北地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	10月～12月実績	5.1	10.0	0.0	0.0	△ 25.0	28.5	0.0
	1月～3月予想	2.6	22.2	△ 25.0	0.0	△ 25.0	28.5	0.0
売上	10月～12月実績	△ 5.1	30.0	△ 37.5	△ 16.6	△ 50.0	0.0	25.0
	1月～3月予想	0.0	0.0	0.0	△ 33.3	△ 25.0	28.5	25.0
受注残	10月～12月実績	17.6	30.0	***	***	***	0.0	***
	1月～3月予想	5.9	0.0	***	***	***	14.2	***
施工高	10月～12月実績	0.0	***	***	***	***	0.0	***
	1月～3月予想	14.3	***	***	***	***	14.2	***
収益	10月～12月実績	△ 10.3	10.0	△ 37.5	△ 16.6	△ 50.0	14.2	0.0
	1月～3月予想	△ 5.1	△ 10.0	△ 25.0	△ 16.6	0.0	14.2	25.0
販売価格	10月～12月実績	7.7	10.0	12.5	0.0	0.0	14.2	0.0
	1月～3月予想	5.1	△ 10.0	12.5	0.0	0.0	14.2	25.0
仕入価格	10月～12月実績	28.2	20.0	37.5	16.6	50.0	42.8	0.0
	1月～3月予想	5.1	△ 20.0	12.5	16.6	25.0	14.2	0.0
在庫	10月～12月実績	0.0	10.0	12.5	△ 16.6	***	0.0	△ 25.0
	1月～3月予想	△ 5.7	△ 10.0	0.0	0.0	***	0.0	△ 25.0
資金繰り	10月～12月実績	2.6	10.0	0.0	△ 16.6	25.0	0.0	0.0
	1月～3月予想	0.0	10.0	△ 12.5	△ 16.6	25.0	0.0	0.0
残業時間	10月～12月実績	△ 10.3	0.0	12.5	△ 16.6	0.0	△ 42.8	△ 25.0
	1月～3月予想	0.0	0.0	12.5	△ 16.6	0.0	△ 14.2	25.0
人手状況	10月～12月実績	△ 28.2	△ 50.0	△ 25.0	0.0	0.0	△ 57.1	0.0
	1月～3月予想	△ 23.1	△ 60.0	△ 25.0	16.6	25.0	△ 42.8	0.0

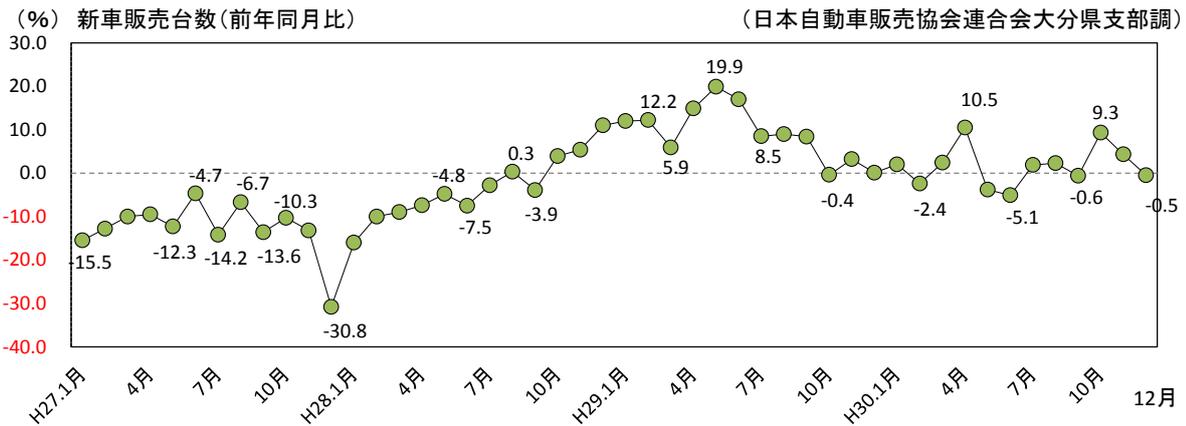
県内大型小売店販売額

平成30年10月の大型小売店販売額は87億円で、前年同月比0.4ポイント下降となっています。品目別では、衣料品が前年同月比±0.0ポイントと同水準、飲食料品が0.2ポイント上昇、その他の商品が3.3ポイント下降となっています。



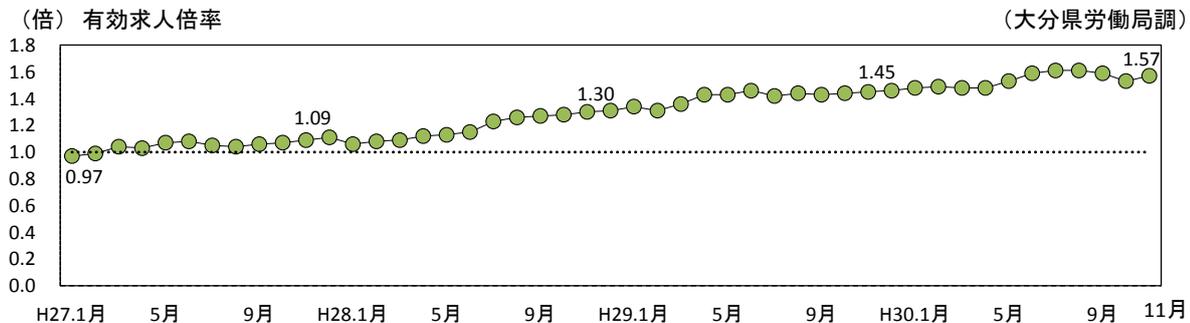
県内新車販売台数

平成30年12月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総合計)は4,023台で前年同月を0.5%下回りました。車種別では、普通乗用車が925台で前年同月比9.2%減、小型乗用車が946台で前年同月比2.6%増となりました。また、軽四輪車の合計は1,819台で前年同月比0.9%増となりました。



県内有効求人倍率

平成30年11月の有効求人倍率は、前月を0.04ポイント上回る1.57倍となりました。地域別で見ると、大分管内1.85倍(前月比+0.02ポイント)、別府管内1.22倍(前月比+0.03ポイント)、中津管内1.64倍(前月比+0.11ポイント)と高水準を維持しております。

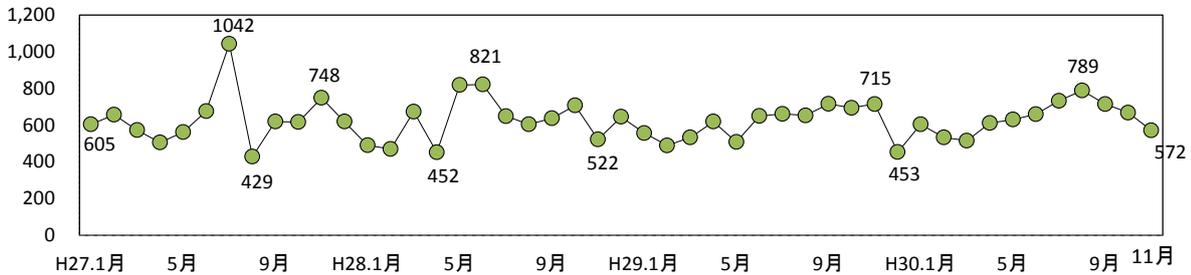


県内新設住宅着工戸数

平成30年11月の住宅着工戸数は572戸でした。そのうち、持家は249戸、貸家は202戸、分譲住宅は90戸となっています。

(戸) 大分県新設住宅着工戸数

(国土交通省調)



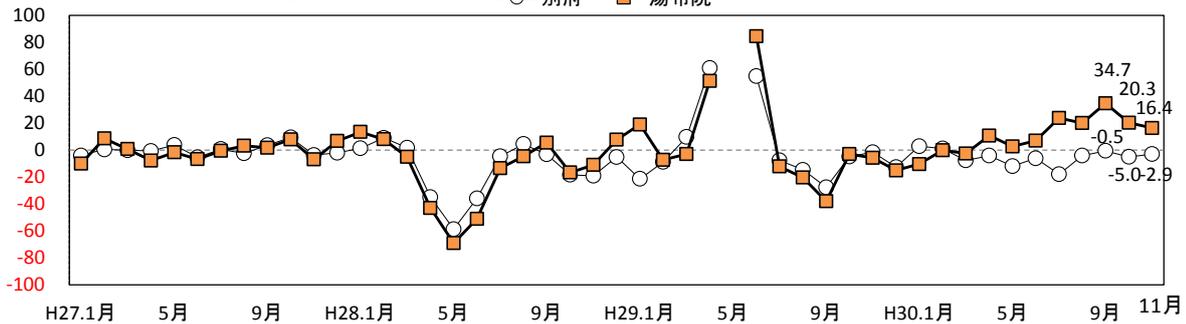
観光動向

平成30年11月の前年同月比宿泊人数は、別府地区で2.9ポイントの下降、湯布院地区で16.4ポイントの上昇となりました。
 ※宿泊人員(前年同月比)の折れ線グラフでは、29年5月のデータを省略しております(28年5月は震災の影響により宿泊人員が大幅に落ち込んだため)。29年5月の前年同月比宿泊人員データは、別府地区+143.7%、湯布院地区+170.4%となっております。

(%) 宿泊人員(前年同月比)

○ 別府 □ 湯布院

(当金庫調)



企業倒産状況

東京商工リサーチ大分支店の調査によると、平成30年12月の県内の企業倒産件数は0件で0百万円でした。平成30年の累計は41件19,702百万円となっています。

(百万円) 企業倒産

倒産件数 ● 負債総額

(東京商工リサーチ大分支店調) (件数)

